

## I. 広東省

### 1. 2016年度民主生活会の開催

- 15日、中央・省党委員会の手配・要求に基づき、馬興瑞・省長代行が主宰し、省政府党組織2016年度民主生活会を開催（1月16日付『南方日報』）。
- 16日午後、中央・省党委員会の手配・要求に基づき、王栄・省政協主席が主宰し、省政協党組織2016年度民主生活会を開催（1月17日付『南方日報』）。
- 16日午後、中央・省党委員会の手配・要求に基づき、黄龍雲・省人代主任が主宰し、省人代党組織2016年度民主生活会を開催（1月18日付『南方日報』）。

### 2. 省政府常務会議の開催

- 15日午後、馬興瑞・省長代行主宰の上記会議で、実体経済・企業コストの引き下げ、第2弾となる広東自貿区への省級管理権限の委譲（6項目）、重点的に対象としている人々の活力を奮い立たせ、都市・農村住民の収入を増加させること、食品の安全監督・管理の強化等の業務について検討・手配し、全国会計業務会議、全国ビジネス業務会議の精神を伝達（1月16日付『南方日報』）。

### 3. 南方財経トータル・メディア集団と中国建設銀行広東支店が戦略的提携

- 15日、南方財経トータル・メディア集団と中国建設銀行広東支店が共同で総額100億元規模のトータル・メディア文化産業基金を設立することになった。同日、同集団と同支店は「戦略的協力協定」、「トータル・メディア文化産業基金協力協定」に署名。慎海雄・省宣伝部長、余静波・中国建設銀行副頭取が署名式に出席（1月16日付『広州日報』）。

### 4. 省紀律検査委員会第11期第6回全体会議の開催

- 16日、胡春華・省党書記が上記会議に出席するとともに講話を行い、習近平・総書記の重要講話の精神を深く学習・貫徹し、引き続き反腐敗闘争を最優先とする態勢を強化し、全面的に厳格な党のガバナンスを揺るぎなく推進し、深く発展させていかなければならないと強調。黄龍雲・省人代主任、王栄・省政協主席が出席。馬興瑞・省長代行が第18期中央紀律検査委員会第7回全体会議の精神を伝達。黄先耀・省紀律検査委員会書記が主宰。同会議はテレビ電話会議形式で行われた（1月17日付『南方日報』）。

### 5. 胡春華・省党書記が中央国有企業の責任者と会談

- 16日午後、胡春華・省党書記が南方電網、南方航空、中広核、招商局等4つの中央国有企業の責任者とそれぞれ会談し、省党委員会・省政府を代表し、中央国有企業による広東省の経済・社会発展に対するサポート・助力に感謝の意を表した。李慶奎・南方電網董事長、曹志安・同総経理、王昌順・南方航空董事長、譚万庚・同総経理、張善明・中広核総経理、李建紅・招商局董事長、徐少華・常務副省長等が同会談に出席（1月17日付『広州日報』）。

### 6. 何忠友・副省長が日中韓協力事務局訪中団一行と会談

- 16日、上記会談で何忠友・副省長は次のように述べた。広東省は一貫して日本、韓国との交流・協力を非常に重視してきた。中国、日本、韓国には広大な協力空間が存在し、日韓が各分野において協力すること、とりわけ広東省への投資の強化を歓迎する（1月17日付『南方日報』）。

### 7. 広東省人代・政協の会議の開催

- 17日午前、省政協第11期第5回会議が開幕。胡春華・省党書記、黄龍雲・省人代主任、馬興瑞・省長代行が出席し、王栄・省政協主席が業務活動報告を行い、陳蔚文・副主席が提案業務の状況報告を行なった。林木声・副主席が主宰。20日午後、同会議が閉幕し、林雄・省統一戦線部長が省政協副主席に当選した（1月18日付『南方日報』）。
- 19日午前、黄龍雲・省人代主任主宰の省人代第12期第5回会議が開幕し、馬興瑞・省長代行が政府活動報告を行なった。胡春華・省党書記、王栄・省政協主席等が出席。2016年広東省のGDP総額（見込み）は7.93兆元（前年比7.4%以上増加）だった（1月20日付『南方日報』）。

### 8. 何忠友・副省長が中国・ベトナム国交樹立67周年レセプションに出席

- 18日、何忠友・副省長が在広州ベトナム総領事館の招きを受け、上記レセプションに出席。何副省長は、2016年1月～11月の広東省の対ベトナム貿易総額は152億米ドル（前年同期比2%増）で良好な成長を維持しており、引き続き双方が各分野における協力を深く発展させ、交流・協力を新たなステップに押し上げるよう推進していきたいと述べた（1月19日付『南方日報』）。

## II. 広州市

### 1. 任学鋒・市党書記率いる広州市代表団がダボス年次総会に出席

●14日～20日、任学鋒・市党書記率いる広州市代表団がスイス・ダボスを訪れ、2017年世界経済フォーラム年次総会に出席し、同期間中、ドイツの関連企業を訪問（1月16日付『広州日報』）。

●18日、広州市と米「フォーチュン」誌がダボスで2017年「フォーチュン」グローバル・フォーラムに関する記者会見を行なった。任学鋒・市党書記、アラン・マレー編集長、同フォーラムの創始者であるジョン・ニーダム氏が出席し、蔡朝林・副市長が挨拶。同フォーラムは本年12月6日～8日にかけて開催予定。テーマは「開放とイノベーション：世界経済の新たな局面を形成（Openness & Innovation: Shaping the Global Economy）」（1月19日付『広州日報』）。

●18日、クラウド・シュワブ世界経済フォーラム会長が任学鋒・市党書記と会談。任書記は次のように述べた。新たな技術革新が大ブームになっている中で、広州市は人工知能、ビッグデータ、クラウドシステム、インターネット・プラスの発展に重点的に注目している。世界経済フォーラムという重要なプラットフォームを通じて、このところ同市では、シスコの中国イノベーションセンター、GEのバイオパーク、フォックスコンの10.5世代液晶パネル製造工場等、大きなプロジェクトを誘致した。同市はイノベーションによる発展を非常に重視しており、同フォーラムと第4次産業革命のネットワークに積極的に参入し、広州センターを設立していきたい。任書記はシュワブ会長を再度同市に招待した。蔡朝林・副市長、葉牛平・市政府秘書長も同席（1月20日付『広州日報』）。

### 2. 温国輝・市長一行が広州駅等を視察

●15日午前、温国輝・市長一行が広州駅等で春節の帰省ラッシュに関する業務を検査・監督・指導するとともに、会議を開いて業務を手配した（1月16日付『広州日報』）。

### 3. 温国輝・市長一行が春節前の安全生産を監督・検査

●17日午後、温国輝・市長がチームを率いて、生産企業、建設工事現場、貨物輸送市場、危険物取扱企業を訪れ、安全生産の監督・指導・検査を行なった（1月19日付『広州日報』）。

## III. 深圳市

### 1. 許勤・市党書記兼市長が張曉明・中央政府駐香港連絡弁公室主任一行と会談

●17日晚、上記会談で許勤・市党書記兼市長は、深圳市の経済・社会発展に対する同弁公室の多大なサポートに感謝の意を表した。双方は、手を携えて深圳・香港両地域の緊密な協力を推進し、広東・香港・マカオ・ベイエリア建設のために、「一国二制度」の方針を実行し、香港の長期的な繁栄・安定を維持すべく積極的に貢献していくと述べた。譚本宏・人民解放軍駐香港部隊司令官、丘海・市人代主任等も同席（1月18日付『深圳特区報』）。

### 2. 深圳国家ゲノム・ライブラリー理事会第2回会議の開催

●18日午前、上記会議が開催され、国家ゲノム・ライブラリーの建設・成果・経験を総括し、次の重点業務について検討・手配。林念修・国家発展改革委員会副主任が同会議に出席するとともに講話を行なった。許勤・市党書記兼市長が主宰（1月19日付『深圳特区報』）。

### 3. 迎春茶話会の開催

●20日午後、李華楠・市政法委員会書記が主宰し、各界有識者との茶話会を開催。許勤・市党書記兼市長、丘海・市人代主任等が深圳市の元指導者、全市各界有識者代表と一堂に会し、心ゆくまで語り合い、友情を温め、共に新春を祝った（1月21日付『深圳特区報』）。

●20日午後、許勤・市党書記兼市長、丘海・市人代主任、李華楠・市政法書記等が深圳市の元指導者代表と一堂に会し、業務を報告し、意見を聴取し、発展についてともに話し合うとともに、元指導者各位に対し、新春を祝福した。李灝、王衆孚、厲有為、劉玉浦、鄭良玉、方苞、周鼎、秦文俊、鄒爾康、李海東、李広鎮、李容根、李徳成、李統書、宋海等の元指導者が座談会に出席。（深圳経済特区の草創期に活躍した）李灝（元副省長・市党書記・市長）、方苞（元珠海市党書記、宝安县党書記）、李統書（元省統一戦線部長、省政協副主席、汕頭市党書記）、李徳成（元常務副市長）等が座談会で発言した（1月21日付『深圳特区報』）。